

第3期県都まえばし創生プラン（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

前橋市政策推進課

前橋市パブリックコメント手続実施要綱に基づき、いただいたご意見に対する市の考え方を公表します。取り纏めの都合上、いただいた意見を一部要約しています。今回いただいたご意見を参考に、第3期県都まえばし創生プラン（前橋市デジタル田園都市構想総合戦略）を策定しました。

なお、計画に直接反映しないご提言・ご意見等については、今後の施策の参考にしてまいります。大変貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

- 意見募集期間…令和6年2月20日（火）から令和6年3月12日（火）まで
- 意見提出者数：7人
- 意見件数：11件

NO.	意見の概要等	市の考え方
1	都市型自走式モノレールの建設導入や無人自動運転ミニバスの導入によって公共交通を充実してほしい。	誰もが自動車に依存することなく、安心して外出することができるよう地域の移動手段を維持・確保することは、本市の喫緊の課題です。ご意見のとおり自動運転バスについては、段階的に導入を進めております。引き続き、国の動向や他市の事例に注視しながら、公共交通の利便性向上に取り組み、持続可能なまちづくりを目指します。
2	県庁所在地である前橋市の中心商店街に目玉となるものがない。大胆な取組として中心商店街の個人商店が連携してショッピングモールのように区画ごとに集約することはできないか。	現在、中心市街地では、再開発事業を進めており、百貨店、オフィス、図書館などが入居する多機能ビルの建設を予定しています。この他にも、次期計画では、自然・文化・スポーツなどの地域資源を活用したまちづくりの推進によって関係人口・交流人口の増加を目指しております。いただいたご意見は、今後の施策の参考にさせていただきます。

3	<p>20～30 代の若者やファミリー層が住みたくなるまちづくりが必要であるが、市民も実感できるようなシティプロモーションとして、「〇〇の街、前橋」や「△△都市」といったわかりやすいアピールを検討できないか。</p>	<p>次期計画には、国が示す計画改訂の手引きに基づき、地域ビジョン（目指すべき理想像）を新たに掲げております。地域ビジョンは、官民共創による本市のまちづくりのビジョンである「めぶく。～Where good things grow～」をベースに、「共助型未来都市」や「デジタルグリーンシティ前橋」を目指すことを整理して記載しています。今後、地域ビジョンを広く市民の方と共有し、その実現に向けた施策を進めることで誰もが住みつづけたくなるまちづくりを推進してまいります。</p>
4	<p>地元プロスポーツチーム「ザスパ群馬」をアピールするため、専用サッカー場の建設を検討できないか。</p>	<p>本市では、ザスパ群馬の練習場（ザスパーク）の建設を、企業版ふるさと納税を活用して本市と民間企業の協働によって進めております。当施設は、人工芝の練習場、フットサルコート、多目的広場の一般利用が可能であり、地域に愛される施設を目指しています。</p> <p>ご意見のとおり、スポーツをはじめ文化や観光振興などによるまちづくりの推進を通して関係人口・交流人口の増加を目指していますので、地元プロスポーツチームとの連携につきましても今後取組の強化を検討してまいります。</p>
5	<p>中心市街地活性化のためテルサの一刻も早い再開をお願いします。</p>	<p>前橋テルサについては、これまで2回の事業提案型公募を実施しましたが、契約相手方の選定には至っておりません。本市としても、中心市街地の活性化には前橋テルサの再開が必要と考えており、次期計画では地域資源を活用したまちづくりの推進によって関係人口・交流人口の増加を目指しております。いただいたご意見は、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>

6	<p>人口減少に歯止めをかけるために、結婚・出産・子育てのほかに、自殺率を下げる、生きやすさを追求するという視点も必要ではないでしょうか。そのために、全ての世代が定期的集まれるような場・仕組みを作ることも必要だと考えます。</p>	<p>次期計画では、市民一人ひとりのウェルビーイング（市民幸福度）の向上を目指すこととして、新たに「共助のまちづくり」という施策を追加しております。いただいたご意見の「生きやすさの追求」は、このウェルビーイング向上に通じるものと考え、施策②「共助のまちづくり」の主な取組に心身の健康づくり事業の推進（No.18）を追記することとしました。</p> <p>また、ご意見のとおり、心豊かな暮らしの実現には、多世代交流が重要な役割を持つと考えております。デジタル技術を活用しながら、多世代交流の場・仕組みづくりも検討してまいります。</p>
7	<p>前橋市には市営・民営問わずスポーツ施設が充実している。これらの施設を活用して就学前の幼児を含めた子どもたちのスポーツ活動の場として受け入れる体制を構築できないか。特に、日本トーターグリーンドーム前橋は、観客席も多く、衛生面も整備されているので、積極的にスポーツ競技利用を受け入れていただけないだろうか。</p>	<p>本市では、これまでのプロスポーツチームへの支援により、市民のシビックプライドの醸成や、来訪者の増加に取り組んでまいりました。本市にとって、日本トーターグリーンドーム前橋は、大事な地域資源でありますので、引き続き、施策⑨関係人口・交流人口の増加に向けて、いただいた意見を今後の参考に取り組んでまいります。</p>
8	<p>メイドイン前橋製造を活用して前橋をアピールしてほしい。例えば、ウクレレ製造が日本一でありますので、小中高生を対象にしたウクレレ甲子園のような全国イベントの実施や、各種イベントで前橋の増田煉瓦製造の石窯焼きピザの新店、三輪車バイクの活用を検討していただきたい。</p>	<p>本市では、中心市街地を会場とした「キングオブピッツァ」や道の駅まえばし赤城での「ウクレレ教室」など、市内外から参加者が訪れるメイドイン前橋を活用したイベントが開催されております。中心市街地や道の駅を本市の交流拠点として、いただいた意見を参考に、地元の農産物や工芸品といったメイドイン前橋を用いた本市の経済活性化や関係人口・交流人口の増加に向けた取組を推進してまいります。</p>

9	<p>デジタル化を進めることで便利になる一方、デジタルに対応できない人にとっては不便が多くなり、「住みづらさ」「生きづらさ」を感じるのではないか。そういった方が困らないようなサポート体制も必要だと思います。</p> <p>また、デジタルを通して全ての人に情報が行き渡るように発信していただきたい。</p>	<p>ご意見のとおり、デジタル化の進展によって、デジタル格差が拡大すると言われております。国は、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル社会をつくろうとしておりますが、その実現には市民に一番近い市役所が大きな役割を果たすと考えております。次期計画では、国が示す計画改訂の手引きに基づき、地方創生の取組をデジタルの力で加速化、深化させるほか、DX推進計画に位置付ける重点事業の推進を通じて、ご意見のようにデジタルによって暮らしの中に利便性を感じられるよう取り組んでまいります。</p>
10	<p>前橋市は東京からアクセスもよいため、最近では、数多くの映画、ドラマ、動画配信のロケ地として選ばれています。ロケ地として選ばれることで、撮影関係者が多く訪れるだけでなく、その後の聖地巡り等の来訪者も期待できます。ぜひ、多方面で撮影される拠点（オープンスタジオ）を作っていただきたい。</p>	<p>ご意見のとおり、本市は、東京からのアクセスがよく、国指定の重要文化財である臨江閣やレトロな風景が残る中心市街地の商店街などロケ地として選ばれる地域の魅力があります。次期計画では、こうした地域資源を最大限活用したまちづくりの推進によって関係人口・交流人口の増加させる施策を掲げております。いただいたご意見は、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>
11	<p>前橋市の過去の失敗（東京理科大学の誘致・ヤマダデンキの本社移転）を考慮すると、行政は、なにもしないのがよいと思います。あえて地方創生の観点から取り組むとすれば、公的機関の駐車場を土日は無料開放していただき、個人の文化活動の発表の場と活用していただきたい。</p>	<p>次期計画では、現行計画に引き続き、積極的に地方創生の取組を推進してまいります。</p> <p>また、次期計画から新たに市民の「暮らしやすさ」と「幸福感」を可視化したウェルビーイング指標を評価に用いることで、より高い成果を上げるための改善策を講じ、計画を着実に推進してまいります。いただいたご意見は、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>